

生涯教育セミナーシラバス

科目名	デジタルデータの基礎	科目区分	時間	回数
担当講師	初山 貴	中級	90分	--

講義概要

急性期病院では、概ねDPC分析システムが導入され、ACCESSやFileMaker等で自身でDPCファイルを加工する機会が少ないと推察される。

しかしながら、データを活用するためには、どのようなアプリケーションを用いる場合でも、各DPCファイルの仕様を理解する必要がある。

本単元では、各DPCファイルの仕様やマスタについて説明するとともに、先行してデジタル化された電子レセプトの仕様についても簡単に触れる。

講義の目標

- ・各種データの仕様を理解できる。
- ・マスタファイルとどのように紐づけできるか理解できる。

講義内容

1.DPC各ファイルの解説□

2.電子レセプトの解説□

3.各種マスタについて□

生涯教育セミナーシラバス

科目名	医療統計実践	科目区分	時間	回数
担当講師	久保 博文	中級	90分	--

講義概要

日本診療情報管理学会による『診療情報管理業務指針2018年』版より『診療情報の活用に向けたデータの処理・提供業務』が明記された。

生涯教育セミナーでも『診療情報データ活用論』や『がん登録データ活用論』などのデータを活かしていく単元を実施してきた。しかし、生データを加工し活かしていく工程の単元を実施していなかった。

今回、縦持ちとなり敷居が高くなったとの声も聞かれる様式1データを、AccessやExcelのマクロを使用せず、Excel(関数)のみで加工し利用する方法を学ぶ。

講義の目標

縦持ちの様式1を中心に、Excel(関数)を使用し、DPCデータを加工する方法を学ぶ。
加工しながら、具体的にクリニカル・インディケータ（CI）を作成し、イメージをつかむ。

講義内容

- ①text（DPC）データをexcelデータに変換
- ②全てのデータに共通ID（様式1 ID）を付与する
- ③様式1をコードでソートする
- ③様式1からベースとなるデータをシートを追加して保存する
- ④VLOOKUPを使いベースとなるシートに必要データを追記する
- ⑤ピボットテーブルを使って集計
- ⑥各ファイルに分析用IDを付与する
- ⑦クリニカル・インディケータ（CI）を作成してみる